

ごみを減らして 美しい地球へ

限りある資源をできるだけ有効に活用してごみを減らし、美しい地球を引き継いでいきましょう。

☎ごみ減量課 ☎(632)2413



POINT
01

「食品ロス」の削減に取り組もう

「もったいない残しま10!」
運動を実践しよう

ID 1014729

- ▼食材は10割使い切って、**ID 1012566** 料理は10割食べ切る。
- ▼毎月10日は「もったいない残しま10!の日」。冷蔵庫などの在庫をチェックし、食べ切り・使い切りを実践する。
- ▼宴会の開始10分・終了10分は料理に専念して残さず食べる。

「もったいない残しま10!運動」協力店

「もったいない残しま10!」運動の趣旨に賛同する事業者を協力店として登録し、さらなるごみの減量化を目指しています。協力店は現在300店舗。ぜひご利用ください。協力店の情報など、詳しくは、市HPをご覧ください。

※協力店は随時募集中。

フードドライブに参加しよう

ID 1021295

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄贈する活動です。本市のイベントでもフードドライブを実施しています。

10/6日食育フェアでフードドライブ

食育フェア当日に来場できない場合は10月4日まで、ごみ減量課(市役所12階)で、事前受付を行っています。

「フードバンク宇都宮」で
いつでも受け付けています(※1)

- 受け付け食品 賞味・消費期限が1カ月程度残っているもので、常温保存が可能な食品。
- ▼例 レトルト食品・缶詰・乾麺・お米・調味料など。
- 受付場所 埴田2丁目5-1共生ビル1階。
- 問い合わせ先 ☎(622)0021

実践! ごみを減らす 3R 行動

リデュース

Reduce

ごみになるものを減らす

食べ残しをしない、買い物は必要な時に、必要な量だけ購入するなど、ごみになるものを減らしましょう。



Reuse

繰り返し使う

詰め替え商品を利用したり、不用なものは譲ったりしましょう。



Recycle

資源として利用する

再生利用できるように、資源物の分別を徹底しましょう。



ごみが増えると未来が危ない!?

ごみが増えると、収集量や焼却量が増え、地球温暖化の原因の二酸化炭素(CO₂)も増加します。

また、現在、ごみを燃やした後焼却灰などは、最終処分場に埋められています。ごみが多くなれば、焼却灰なども増え、最終処分場を計画通り使うことができなくなってしまう。

ごみとなるものを減らし、限りある資源を大切に、繰り返し利用できるような循環型社会を作っていく必要があります。

焼却ごみの中には
「もったいない」がたくさん

15ページのグラフの結果から、焼却ごみの中で占める割合が一番高いものは、「生ごみ」です。

実は、この生ごみのうち、約2割が「食品ロス(もったいない生ごみ)」。本来まだ食べられるのに捨てられてしまっているものです。

また、「資源化できる紙」や「プラスチック製容器包装」が、それぞれ全体の約1割。これらは、きちんと分別すれば「資源物」として出すことができるものです。

私たちの生活の中から、ごみに

※1 「フードバンク宇都宮」は、今年中に泉が丘に2カ所目の拠点を設ける予定です。

県内初!

ID 1018743

宇都宮市がSDGs未来都市に

今年7月、本市はSDGs未来都市に選定され、認定証が授与されました。さらに、日本経済新聞社による、全国815市区を対象にした「SDGs先進度調査」で、宇都宮市は全国総合第3位の評価を獲得。



本市の持続可能なまちづくりに向けた取り組みが高く評価されています。

SDGsとは

「Sustainable Development Goals」の略。平成27年9月の国連サミットで採択された2030年を年限とする国際社会共通の目標。地球上の「誰一人として取り残されない」社会の実現に向けて、貧困や健康、産業、環境などの広範な課題に対する17の目標から構成されています。



☎政策審議室 ☎(632)2114

全国初!

県内全市町で「プラごみゼロ宣言」

プラスチックと上手に付き合い行動していくため、県と県内全市町が「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」を行いました。

不必要な使い捨てプラスチックの使用削減や、プラスチックごみのリサイクルと適正処理の徹底など、3R行動の徹底に引き続きご協力ください。

POINT 02

目指すは「プラごみゼロ」 プラスチックと上手に付き合おう

私たちの生活で便利に使われているプラスチック。しかし今、プラスチックごみの海への流出による、地球規模での環境汚染が問題となっています。

使い捨てのプラスチック製容器包装などが不必要に使用・廃棄されないよう、マイバッグやマイ箸など再使用できるものの利用を心掛けましょう。

POINT 03

捨てれば「ごみ」をリサイクルしよう

回収品(家庭から排出されるもの)	使いみち
使用済み・賞味期限切れ食用油 (廃食用油) ID 1005121	インクの原料などにリサイクル
使用済み小型家電 ID 1005118	希少な金属(レアメタル)など、新たな家電製品の原材料などにリサイクル
使用済みインクカートリッジ ID 1005122	新しいインクカートリッジにリサイクル
剪定枝(持ち込み条件あり) ID 1013417	チップ化して無料配布 (家庭での利用に限る)

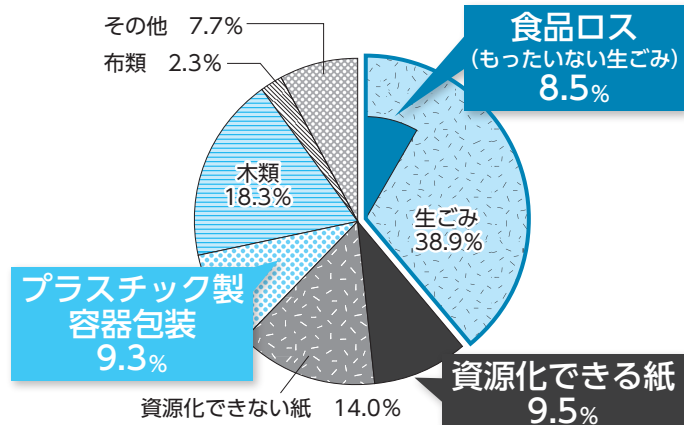
※回収場所や条件などは、市HPをご覧ください。

イベントに参加してリサイクルを実践!

廃食用油で粉せっけんをつくろう

ID 1017109

- ▼日時 11月19日(火)午前9時～午後4時。
- ▼会場 河内リサイクルせっけんづくり体験館(上田原町・河内農業構造改善センター内)。
- ▼対象 市内在住者。
- ▼定員 先着10人。
- ▼申込開始 10月8日。
- ▼申込方法 直接または電話で、河内区☎(671)3202へ。



グラフ 令和元年度家庭系焼却ごみの組成分析調査(宇都宮市)

ならないはずのものが、こんなに出されてしまっているのです。ごみを減らすためには、まず一人ひとりが3Rを意識して、行動してみることが大切です。

本市は7月に「SDGs未来都市」に県内初選定。今年8月には、県および県内全25市町による「プラごみゼロ宣言」を行うなど、取り組みが活発化しています。

大切なのは、今だけではなく未来を見据えた行動。未来の子どもたちのために、日ごろの小さな行動から始めていきましょう。